

## Alle können alles träumen II.

Der Kellner bringt Bier. Sie fangen an zu trinken. Im Lokal stellen sie sich immer noch vor, sie würden im luxuriösen Hotel essen. [y1]

Peter: Wie mundet der vin de bordeaux denn?<sup>1</sup>

Heidi: Vorzüglich. Solch einen Wein könnten wir sonst nur in Bordeaux trinken. [z1]

Kellner: Einmal Schnitzel, und einmal Bratkartoffeln. Ist das alles?<sup>2</sup>

Heidi: Ja.

Kellner: Guten Appetit!

Heidi: Wären Sie so nett, mir das Salz zu reichen? [y2]

Peter: Ja, gerne. (zum Kellner) Entschuldigung! Haben Sie Salz?

Kellner: Ja bitte!

Peter: Und dürfte ich nun um einen Gefallen bitten? Ich möchte noch ein Bier trinken.<sup>3</sup> [z2]

Heidi: Ja, bitte.

Peter (zum Kellner): Noch ein Bier bitte!

Kellner: Jawohl!

Peter: Schmeckt es?

Heidi: Ja, köstlich.

Kellner: Schmeckt's? [y3]

Heidi: Ja, sehr gut. Wir würden gerne zahlen.

Kellner: Ja. Einmal Schnitzel, einmal gebratene Kartoffeln, einen kleinen Bauernsalat und drei Bier.

Das macht 23.50 Euro.

Peter: Stimmt so.

Kellner: Danke. Schönen Abend noch.

Heidi: Gleichfalls.<sup>4</sup>

Peter: Gnädige Frau, dürfte ich Sie zu einer Tasse Kaffee in unserem Holiday inn überreden?<sup>5</sup>

Heidi: Ja gerne!



<sup>1</sup> = Wie schmeckt Ihnen der Wein aus Bordeaux denn?

<sup>2</sup> = Außerdem? = Darf ich Ihnen sonst noch etwas bringen? ただし、これらの書き換えの場合、給仕に対する応答は、「Nein danke.」になる。「Ja.」といえば、注文を追加することになる。

<sup>3</sup> ペーターがビールを注文したいと言っているのだが、なぜハイジの許可をとらなければならないのか分からないという意見がドイツ人から出た。

<sup>4</sup> = Ebenfalls

<sup>5</sup> 原案は、「Dürfte ich Sie zu einer Tasse Kaffee in unserem Holiday inn verführen?」 ちょっと言い過ぎではないか、ということで、本文の形になった。



## 誰だってなんでも夢見ることはできる（その2）

給仕がビールを持ってくる。かれらは飲み始める。飲食店でかれらはあいかわらず、ゴージャスなホテルで食事をしている姿を思い浮かべている。

ペーター： ボルドーワインのお味はいかがでしょう。

ハイジ： すばらしいわ。このようなワインは、ここでなければ、ボルドーでしか飲めないところでしょうね。

給仕： シュニッツェル一人前。ジャガイモ炒め一人前。これでお揃いでしょうか。

ハイジ： はい。

給仕： どうぞごゆっくり。

ハイジ： お塩をとっていただけませんか。

ペーター： ええ。よろこんで。（給仕に）すみません。塩あるかな？

給仕： はい。どうぞ。

ペーター： さしつかえなければ、お願いしたいのですが。私としては、もう一杯ビールを飲みたいのです。

ハイジ： どうぞ。

ペーター（給仕に）： ビールもう一杯。

給仕： かしこまりました。

ペーター： お口に合いましたでしょうか。

ハイジ： ええ。すばらしいわ。

給仕： お味はどうでしたか。

ハイジ： とってもおいしかったです。お勘定、お願いします。

給仕： はい。シュニッツェル一人前。ジャガイモ炒め一人前。農民風サラダの小盛りと、ビール三杯。合わせて、23ユーロ50セントです。

ペーター： おつりはらないよ。

給仕： ありがとうございます。よい晩をお過ごし下さい。

ハイジ、ペーター： そちらこそ。

ペーター： 奥様。コーヒーにお誘いしたいのですが。われわれのホリデー・インで。

ハイジ： よろこんで。